	公文書の意義とその管理	1.5	行政機関における公文書管理の意義、我が国の現状とその問題点について、講義を通じて理解・意識を深める。
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	20.5	府省横断的な政策課題について調査研究を行い、縦割りを超えた班別討議及び長期的展望に立った具体的な政策提言を通じて、国民全体の奉仕者としての自覚、問題発見能力、表現力等行政官として求められる資質をかん養する。
	政策形成の実際と行政官	2.5	各府省が取り組んだ行政課題を題材とし、政策形成に関する講義及び質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点と手続、関係者との調整の在り方、マスコミとの関係等について学ぶ。
	行政政策事例研究	22.5	歴史的意義の大きい過去の行政事例を題材として当時の困難な状況の下で取るべき方策を模索した関係者から話を聞き、批判的な視点も含めて多角的な立場から見た「行政官として取るべき行動」について、率直かつ自由に討議することで、行政官としての使命感や識見、問題解決能力をかん養する。
	政策ディベート	13	ある課題について、本来の自分の主張と対立する立場からも立論し、相手の反論に抗しつつ自分の立場の主張を受け入れてもらえるよう説得する。また、審判として双方の立論の論理性や説得力を客観的に判断する。これらを通じ、幅広い視点から物事をとらえる力を養うとともに、相手の意見を的確に把握する力や効果的な説明手法を身につける。
公正な公務運営について学ぶ	人事評価	1.5	人事評価制度の基本的な知識を身につけるとともに、組織の中で働くことの基本を正しく理解する。
	メンタルヘルス	2	現在の職員を取り巻く環境はストレス要因が増大しているという状況を踏まえ、メンタルヘルスに関する理解を深めるとともに、精神的な健康問題の発生の防止などストレスへの対応の在り方について考える契機とする。
	接遇	1.5	公務員を見る目が厳しくなっている中、国民全体の奉仕者として、国民の立場に立ち、行政サービスの受け手である国民等にいかに対応すべきかを考え、学ぶ。
体験を通して行政の在り方を考える	介護等実地体験	50	社会福祉施設における介護補助業務等の実地体験を通じて、その現状や実態への理解を深めるとともに、社会や地域の在り方について府省の枠を超えた広い立場で考え、学ぶ。また、国民の立場に立ってものを見ることの重要性を学ぶ。
	地方自治体実地体験	39.5	地方自治体行政の現場における実地体験や自治体職員、地域住民との意見交換等を通じて、現場の実情を学ぶとともに、国と地方の関係について考える。また、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等についての認識を深めるとともに、地域住民を中心に据えた行政について学ぶ。
	国際行政の現場	3.5	国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく生きた話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、諸外国との交渉や国際協力の在り方などについて認識を深める。
	日本への期待	3.5	駐日大使館に勤務する外交官等から、外交交渉の場における日本政府との折衝や実際に日本で暮らした経験を踏まえた上で、日本がこれから国際社会において果たすことを期待される役割、外国との相互理解・協力を増進するため日本人が心がけるべきことなどについて理解を深める。
諸行事	開・閉講式、オリエンテーション等	11	体操（３Ｈ）含む
合計　187時間			

㈱　それぞれの科目につき、講義、討議、実習等の技法を組み合わせて実施している。

⑶　３年目フォローアップ研修

原則として⑵の初任行政研修を受講した者のうち、将来、本府省において政策の企画・調整の衝に当たることが期待される採用３年目の者を対象に、４コースに分けて４日間の研修を実施している。

平成22年度は、「行政官の在り方」についての現職の事務次官等による講義、社会問題の解決に事業方式で取り組む社会起業家等による講義、研修員８～９人の班別による「公務員としての２年間を振り返り、今後の公務員生活を考える」を課題とする意見交換などからなるカリキュラムにより実施した。

⑷　行政研修（課長補佐級）

本府省の課長補佐級の職員を対象に３日間の研修を８コース実施している。

平成22年度は、本府省課長補佐級に昇任後おおむね１年以内の者のうち、政策の企画・調整の衝に当たる者を対象に、対象者の全員受講をねらいとして、研修日程を従来の８日間から３日間に短縮することにより受講促進を図るとともに、５コースから８コースに増やして実施した。

本研修は、歴史的意義の大きい行政事例を題材とした「行政政策事例研究」、行政課題等について多様な視点から班別に討議する「個別政策研究」のほか、「職業と倫理」に関する講義・演習、「コーチング」、「古典に学ぶ」などからなるカリキュラムにより実施した。

⑸　行政研修（課長補佐級）中国行政学院派遣コース及び韓国中央公務員教育院派遣コース

本府省の課長補佐級の職員を対象に、中国及び韓国への派遣研修を実施している。

平成22年度は、訪問先を、北京及び雲南省として、日中の行政官の意見交換や農村地域の現地視察などを行う派遣研修を１コース実施するとともに、訪問先を、ソウル特別市及びクワチョン市とした日韓の行政官の意見交換や韓国の行政機関等への訪問などを行う派遣研修を１コース実施した。

⑹　行政研修（課長補佐級）リーダーシップ研修

各府省の課長補佐級の職員で、将来、本府省幹部職員として行政運営の中核を担うことが期待される者について、平成22年度において試行的に１コースを通算15日間、一部日程については、平成23年４月から６月の間において実施した。

本研修は、国家の在り方や行政の在り方について討議・発表する「課題研究」、府中刑務所などを訪問する「行政現場学習」、「駐日在外公館職員との意見交換」、小グループに分かれてテーマを設定し政策提案・改革ビジョンを作成・発表する「共同研究」などからなるカリキュラムにより実施した。